2022年 我が社の展望

3年前、私たちは医療・介護の第一線で活躍している人や利用者と一緒に、「ファイブ介護研究会」を立ち上げた。以前から自立支援、重度化防止と叫ばれてきたが、中重度者に対する有効な対策は一向に進まず、現場が苦しんでいる。また、高齢者が増え、介護者が不足する状況がこれから20年以上続く。これを何とかしなければならぬ。

めざすのは、中重度者の再起。ベッドや椅子を動かすことができない、長時間過ごすことができない人、もう一度、復活してもらおう。私たちは、あらゆる方法を駆使して中重度者の落ち込んだ気持ちを呼び起こし自立を支援していきたく考えている。

「デイサービス」「ボラリス」(森岡士社長)では、安全懸架装置を駆使して歩行練習などを計画している。

2人に1人で改善を実現している。こうした実績をもとに、私たちも中重度の状態になっても適切な福祉用具の提案で高齢者、障害者の自立支援を図る取り組みを行っている。

2022年は、モリトとして、これまでのノウハウを開発して「ファイブ介護研究会」の活動を活かし高齢者からの自立支援を推進していきたい。

12月に東京で開催されたテクニカル協会「ニュー・ニュー・ニュー」で展示した吊り具の新製品「からん歩」は、歩行困難な要介護者がベッド空間を自分の足や手のわずかな力を使って動き回れる。これまでにならぬ多くの来場者の関心を捉えた。

リフトが床まで下がり、そこに立つことができるように、一緒に歩けるように、上にあがれるように、座ることもできる。からん歩を使うことで、ベッド周りの戸棚やテーブルにも近づけることができる。試された人たちはみな、元気な時を取り戻すことができたと感動していた。

現在、本社「ボラリス」をリニューアルし入浴も自立支援の可能な研修施設を計画している。

64年目のモリトンにとって、今年最大のイベントは「テクニカルセンター」The Box」が11月に完成することだ。広島市内に分散する開発拠点を集約し、営業や管理機能をもつ本社でもあり、広島市西区に建設中だ。

移転開設により、当社の「スポーツ用品」「自動車部品」「医療・福祉機器」「観水・産業用品」が「フロア」に集約され、4事業横断のモノづくりを推進できること、今から大いに期待している。

テクニカルセンターにより、新しい発想・着眼点によるモノづくりが進み、開発スピードや品質向上の向上も進むと考えている。エアマットレスや手すり、車いすなど当社製品ユーザー、福祉用具事業所の皆様にとって、より良い製品とサービスの提供を加速できると考えている。

「介護現場は排せつや褥瘡管理などケアの質を向上し、加齢を取ると共に、職場の働きが向上し、早急に取り組みなければならぬ」と考えている。

アメリカの臨床心理学者ハースバークの「二要因理論」は、どのような仕事へのモチベーションが向上し、または低下するかをマッピングすることを求めているが、介護現場にも必要なのではないかと感じている。

政府は「月から看護師や介護士、保育士の給与引き上げに向けた取り組みを始める。給与引き上げは「一動機づけ」になるが、同時に職場の働きが、やりがいの面で課題がある。政策の効果を前向きに。

幸いにして年末時点で日本の新型コロナウイルス感染状況は小康状態であるが、世界的には感

染拡大が続いている。そうした中で、動きは自身の仕事のやりがいや社会貢献について考える機会が増え、転職することのハードルが下がっている。

介護事業の経営的視点に立てば、いかに人をつなぎとめる魅力や職場にもたせるかが求められている。

給与引き上げのモチベーションを最大限に引き出すためには、休暇の取りやすさ、ICT機器導入による業務負担軽減と残業削減、職場の人間関係を良くするための意見交換の充実などすべきことはたくさんあるが、当社は「ENA製品とサービスを通じてコンチネンシアの充実を支援できる」と考えている。

コンチネンシアは、多職種連携のチーム作りから始まり、課題の洗い出し・改善方法の検討・検証・方法の改善というPDCAサイクルによって進む。目に見える効果は、利用者・職員・経営者がモチベーション向上につながる。ケア全般への波及効果も大きい。そうしたチーム活動への支援を含めて、より良い職場づくりを、皆さんと共に進めたいと考えている。

「職場改善」で処遇改善を介護職のやりがいに

ユニ・チャームメンリッ

森田 徹社長

「介護現場は排せつや褥瘡管理などケアの質を向上し、加齢を取ると共に、職場の働きが向上し、早急に取り組みなければならぬ」と考えている。

アメリカの臨床心理学者ハースバークの「二要因理論」は、どのような仕事へのモチベーションが向上し、または低下するかをマッピングすることを求めているが、介護現場にも必要なのではないかと感じている。

政府は「月から看護師や介護士、保育士の給与引き上げに向けた取り組みを始める。給与引き上げは「一動機づけ」になるが、同時に職場の働きが、やりがいの面で課題がある。政策の効果を前向きに。

幸いにして年末時点で日本の新型コロナウイルス感染状況は小康状態であるが、世界的には感

モリトー 中重度者の自立と復活をめざして

64年目のモリトンにとって、今年最大のイベントは「テクニカルセンター」The Box」が11月に完成することだ。広島市内に分散する開発拠点を集約し、営業や管理機能をもつ本社でもあり、広島市西区に建設中だ。

移転開設により、当社の「スポーツ用品」「自動車部品」「医療・福祉機器」「観水・産業用品」が「フロア」に集約され、4事業横断のモノづくりを推進できること、今から大いに期待している。

テクニカルセンターにより、新しい発想・着眼点によるモノづくりが進み、開発スピードや品質向上の向上も進むと考えている。エアマットレスや手すり、車いすなど当社製品ユーザー、福祉用具事業所の皆様にとって、より良い製品とサービスの提供を加速できると考えている。

山下和洋社長

昨年末に2030年を見据えた「長期ビジョン2030」を策定した。その中の柱が「EX(従業員体験)とCX(顧客体験)の向上」。今年はず「EX」として、社員の働きがいやキャリア意識を高める取り組みが中心。EXが高まれば、結果的に顧客の満足度を高めることに繋がる。

具体的には、企業理念やミッションなどの再構築を図り、それと人事制度を連動させて強化していく。会社の価値観が社員に浸透し、浸透していけば、現場で判断に困るような場面でも「マシマシ」が何を大切にしているか、このように価値の提供を目的とした取り組みが、指針となり、一人ひとりがより自主的に判断しやすくなる。また、各部署の役割をより明確にする。キャリア形成のステップと基準を明確にし、社員の納得感が得られる

モルテン 介護現場に新しい価値を提供していく

介護現場は、見守りセンサー機器や装着型ウェアラブルなど、国の定めた重点分野「6分野13項目」を中心に製品化が進んでいる。介護人材不足への対応や自立支援の促進、昨今では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護現場に実装し定着させる動きが活発になっている。この流れを促進させるため、厚生労働省は2020年8月より「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」を開始した。委託を受けて事業運営するNTTデータ経営研究所シニアマネージャー・足立圭司氏のインタビューをもとに、全3回で「介護ロボットでできること」現場活用のために」を連載する。

従業員体験を高める1年に

ヤマシタ

人事制度について。

EXの向上は、ブロック長や所長、現場リーダーといった「現場」の育成・強化が欠かせない。社員が「丸」になって同じ方向を指すように、日々コミュニケーションを図りながら、部下の成長を促すのが「ミドルマネージャー」の役割だ。研修や、私も含め経営陣と「ミドル」が接する機会を増やすことも、その役割をサポートしていきたい。

昨年の最大の反省は5月に受けたサイバー攻撃。個人情報報の一部が海外へ流出してしまい、改めて「セキュリティ」を強化していき、安心安全を確保する。現在に至るまで二次被害の報告はなく、全ての対応を終え、関係者保護を報告している。現在においても、ネットワークの安全性を担保した状態で業務を行っているが、今後は運用面を含めた根本的な情報セキュリティ対策を講じていく。安心安全を確保し、信頼を得られる企業として、信頼を得られるように対策には最大限取り組みたい。

「介護ロボットでできること〜現場活用のために〜①」

「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」とは

試用貸出や現場ニーズとロボット技術のマッチングも

導入前の試用導入を調整する」と説明する。

開発企業と導入する介護施設の両方の支援をすることで、本格的な普及に向けて後方支援を行うイメージだ。

「試用」

中でもメーカーと介護施設の仲立ちとして、相談窓口で実施される介護ロボットへの無償試用貸出への注目度が高い。これは購入決定前に無償で試用し、効果や職員が使いこなせるかを確認した上で、納得し安心して購入できる仕組み。今年度の対象製品は、テクニカル協会「介護ロボットの試用貸出リスト」掲載の50製品。見守り機器や装着型移乗支援機器、アシストスーツ、関連が多いが、リストは定期的に見直されており、充実が図られている。介護ロボットの普及のため、すでに国の地域医療介護総合確保基金のメニューとして、都道府県での購入補助金も充実しているが、検討と購入決定の間に「試用」

また、今年度からは「ニーズ・マッチング」支援事業として、各都道府県に設置した協議会が5年間で収集したニーズ調査に基づき「今求められている介護ロボット技術のニーズをリスト化し公表。このリストに基づいて、解決できる技術をもつ企業のエントリーを呼びかけ、その技術を現場ニーズとマッチングさせ、早期の製品化を支援する事業も始めた。

足立氏は「今あるニーズを各社のもつ技術とマッチングさせることで、6分野13項目にない新しい分野の開拓につながるかもしれない」と期待している。本人や介護職のメリットであるとともに、産業としてメーカーに参入する意欲を掻き立てることにつながることを期待している」と語る。(統)

NTTデータ経営研究所の足立圭司氏

「介護ロボットでできること〜現場活用のために〜①」

「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」とは

試用貸出や現場ニーズとロボット技術のマッチングも

導入前の試用導入を調整する」と説明する。

開発企業と導入する介護施設の両方の支援をすることで、本格的な普及に向けて後方支援を行うイメージだ。

「試用」

中でもメーカーと介護施設の仲立ちとして、相談窓口で実施される介護ロボットへの無償試用貸出への注目度が高い。これは購入決定前に無償で試用し、効果や職員が使いこなせるかを確認した上で、納得し安心して購入できる仕組み。今年度の対象製品は、テクニカル協会「介護ロボットの試用貸出リスト」掲載の50製品。見守り機器や装着型移乗支援機器、アシストスーツ、関連が多いが、リストは定期的に見直されており、充実が図られている。介護ロボットの普及のため、すでに国の地域医療介護総合確保基金のメニューとして、都道府県での購入補助金も充実しているが、検討と購入決定の間に「試用」

また、今年度からは「ニーズ・マッチング」支援事業として、各都道府県に設置した協議会が5年間で収集したニーズ調査に基づき「今求められている介護ロボット技術のニーズをリスト化し公表。このリストに基づいて、解決できる技術をもつ企業のエントリーを呼びかけ、その技術を現場ニーズとマッチングさせ、早期の製品化を支援する事業も始めた。

足立氏は「今あるニーズを各社のもつ技術とマッチングさせることで、6分野13項目にない新しい分野の開拓につながるかもしれない」と期待している。本人や介護職のメリットであるとともに、産業としてメーカーに参入する意欲を掻き立てることにつながることを期待している」と語る。(統)

介護ロボットは、見守りセンサー機器や装着型ウェアラブルなど、国の定めた重点分野「6分野13項目」を中心に製品化が進んでいる。介護人材不足への対応や自立支援の促進、昨今では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護現場に実装し定着させる動きが活発になっている。この流れを促進させるため、厚生労働省は2020年8月より「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」を開始した。委託を受けて事業運営するNTTデータ経営研究所シニアマネージャー・足立圭司氏のインタビューをもとに、全3回で「介護ロボットでできること」現場活用のために」を連載する。

介護現場に新しい価値を提供していく

モルテン

介護現場は、見守りセンサー機器や装着型ウェアラブルなど、国の定めた重点分野「6分野13項目」を中心に製品化が進んでいる。介護人材不足への対応や自立支援の促進、昨今では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護現場に実装し定着させる動きが活発になっている。この流れを促進させるため、厚生労働省は2020年8月より「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」を開始した。委託を受けて事業運営するNTTデータ経営研究所シニアマネージャー・足立圭司氏のインタビューをもとに、全3回で「介護ロボットでできること」現場活用のために」を連載する。

Care Show Japan 2022

高齢者食・介護食の専門展示会&セミナー
 介護用品・設備・サービスの展示商談会
 国内唯一、介護保険外サービスの専門展示会

第14回 **メディケアフーズ展** 第15回 **介護産業展** 第16回 **保険外サービス展**

病院・クリニック支援展 保険薬局支援展 未病産業展 ヘルスケアIT

2022年2月8日(火)・9日(水)・10日(木) 10:00-17:00 東京ビッグサイト 南3ホール 主催: Informa Markets

全セミナー聴講無料!! 来場前登録のうえ、マイページよりお申込みください。

A-1 2月8日 10:30~11:20 基調講演 科学的介護情報システム(LIFE)による科学的介護の推進について 新田 博一 (厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室長)	B-9 2月9日 12:50~13:30 介護施設オペレーションDX ~介護現場のICT・テクノロジーの導入~ 高本 隆夫 (社会福祉法人 老人会 理事、最高執行責任者、統括施設長、特別養護老人ホーム7施設 施設長)
A-4 2月8日 14:00~15:20 基調講演 自治体ヘルスケアベンチャー等の連携による超高齢社会の地域課題解決 石原 優 (関東経済産業局 地域経済部 次世代産業課長) ※他2名の講演あり	A-9 2月9日 14:40~15:20 2022年、介護施設経営における給食部門改革のススメ 遠くべき給食会社と選ばれる給食会社 井上 裕基 (株式会社日本給食業経営総合研究所 副社長執行役員 経営コンサルタント)
A-5 2月8日 15:40~16:20 介護報酬改定対応も踏まえた、with/afterコロナ時代に求められる介護事業者のマネジメントとは 伊藤 亜記 (株式会社ねこの手 代表取締役)	A-11 2月10日 10:30~11:20 介護施設の収益改善 菅澤 翔太 (株式会社船井総合研究所 地域包括ケア支援部 マネージャー)
A-6 2月9日 10:30~11:20 基調講演 国家戦略としてのフレイル予防~健康長寿社会実現のための鍵~ 飯島 勲夫 (東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長、東京大学 未来ビジョン研究センター 教授)	A-13 2月10日 15:00~15:40 新型コロナウイルス感染拡大期における在宅チームの果たすべき役割 吉江 慎 (東京都介護支援専門員協議会 理事、一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事・保健師・看護士)

● 来場前登録もしくは招待状持参で入場料(¥5,000)が無料になります。Care Show Japan ホームページよりご登録下さい。
 ● 公式ウェブサイト上の「出展社一覧」より、出展製品・サービスの詳細をご確認いただけます。

来場前登録・セミナーや出展社一覧の確認は
 Care Show Japan 検索
 Care Show Japan ホームページをご確認ください。

介護保険と障がい者福祉の全30サービス種類以上の請求と記録アプリ連携にも対応!

介護も障がいも、これ1つ。

介護事業の一番身近なパートナー!

介舟ファミリー

クラウド対応
 請求と記録を一气通貫
 LIFE 完全対応

サポセン 応答率 98%
 導入事業所 5,800 以上!

いち押し情報!

- 障害福祉のGH、短期入所 請求対応!
- LIFE 対象全16加算対応!
- 訪問看護(医療保険) Care-wing 連携対応!

最新情報はこちらから!

CareTEX プース番号: 4-37

介舟ファミリーの大好評! スーパーサポートサービス **助かった** ソフト導入時のしっかり立ち上げサポート 運用操作での密着サポート オリジナルセミナーによる情報サポート

株式会社日本コンピュータコンサルタント